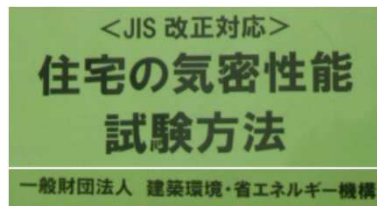




## JIS対応測定をスマートに省力化

気密測定の教科書/IBEC講習会テキストが2018年に改正。2020年3月下旬からテキストの販売が始まります。今後高まるJIS対応測定の必要性に応えるDolphin2。とても手間がかかるJIS対応測定をスマートに省力化！これで住まい手・供給関係者・測定者みなさん納得の測定結果に！！

JIS対応測定版は2020年4月供給開始予定。



IBEC気密測定技能者  
養成講習会テキスト



改正JIS A 2201:2017

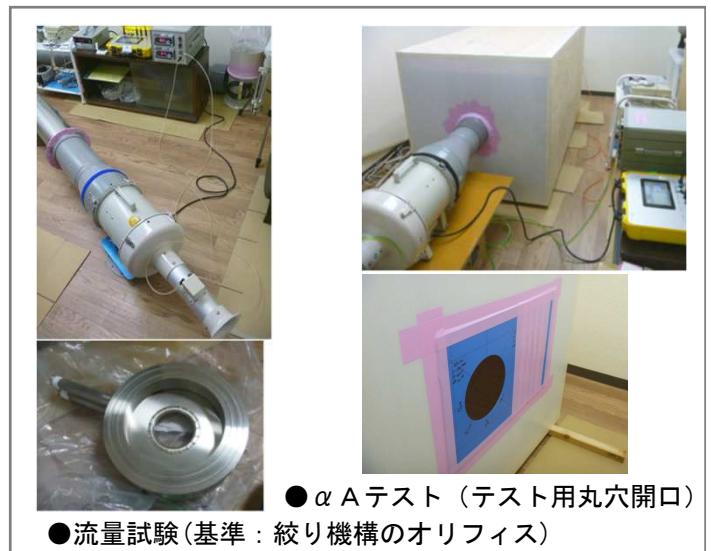
Dolphin2で  
IBEC・JISの項目に対応

### < 1 > 気密測定器 (試験装置)

< 1 > 気密測定器 (試験装置)	IBEC講習会テキスト 「住宅の気密性能試験方法」 (JIS A 2201:2017年改正)	Dolphin2・JIS対応測定 ★: 新型で対応 (赤字は注目ポイント) ▲: 未対応
(1) 気密測定の精度 = 相当隙間面積 $\alpha A$ の測定精度	①相当隙間面積 $\alpha A$ とは、 単純開口 (丸穴) 面積 $A \times$ 流量係数 $\alpha$ 気密測定 諸々の誤差を含む総合的指標 ②相当隙間面積 $\alpha A$ の測定精度 $\pm 5\%$ 必要	★ $\alpha A$ テスト (社内) により 精度 $\pm 3\%$ 達成 (★さらに向上) ★性能チェック部材の商品開発 (販売予定) $\Rightarrow$ ユーザー一点検・デモ用
(2) 流量測定装置の構成	・JIS B 8330 「送風機の試験及び検査方法」 規定の吸込ノズル、測定ダクト、ピトー管を 組合せた装置。または、同等精度の装置。	★JIS B 8330 準拠 ・吸込ノズル: JIS B 8330 寸法準拠 ・測定ダクト: ★アルミ+FRP製 ・ピトー管: ★社内検定
(3) 流量測定装置の精度	・流量測定装置の精度 $\pm 5\%$ 以下	★試験機関同等社内試験で精度OK
(4) 流量測定装置の校正	・校正は、定期的に行い、JIS B 8330 または JIS Z 8762 「円形管路の絞り機構による 流量測定方法」または同等精度の装置による	★メンテナンス体制: 検査ドック ★メンテナンス5年パックの開始 (延長保証・代替品対応など)
(5) 圧力差測定器の精度	・圧力差測定器の精度 $\pm 0.5$ Pa 以下	★社内試験で精度OK (※1)
(6) 温度計の精度	・温度計の精度 $\pm 0.5$ K 以下	温度センサの精度 ★カタログ値で精度OK



小型気密測定器 Dolphin-Air



Dolphin2のメンテナンス・検査体制



## < 2 > 測定方法 (試験方法)

**Dolphin2コントローラ**

2019年 5月15日(水) 08:00:00

**気密測定器 Dolphin2**

メインメニュー

↓ 施工時はかんたん測定(例)

設定

かんたん測定

JIS準拠測定

↑ 完成時はJIS対応測定(例)

測定前ゼロ調整	気密測定	測定時刻	隙間特性値 n (1 ≤ n ≤ 2)	総相当隙間面積 αA [cm <sup>2</sup> ]	相当隙間面積 C値 [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]
1回目測定	00:00	00:00	0.00	000.0	0.00
2回目測定	00:00	00:00	0.00	000.0	0.00
3回目測定	00:00	00:00	0.00	000.0	0.00
平均			0.00	000.0	0.00

機器校正	測定時刻	差圧 [Pa]	動圧 [Pa]	外気温 [°C]	室温 [°C]
測定前ゼロ調整	00:00	0.00	000.0	0.00	0.00
測定前外乱測定	00:00	0.00	000.0	000.0	000.0
測定後外乱測定	00:00	0.00	000.0	000.0	000.0
測定後ゼロ調整	00:00	0.00	000.0	000.0	000.0

グラフ切替 戻る

通気量 [m<sup>3</sup>/h]

測定回数	1	2	3	4	5	6	隙間特性値 n (1 ≤ n ≤ 2)	0.00 [-]
ファン [%]	35.0	40.5					000.0	通気率 α (9.8Pa時) 000.0 [m <sup>3</sup> /h]
差圧 ΔP [Pa]	10.0	19.8					000.0	総相当隙間面積 αA 0000 [cm <sup>2</sup> ]
通気量 Q [m <sup>3</sup> /h]	99	185					0000	相当隙間面積 C値 0000 [cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ]

**USBメモリに書き出す報告書**

↑ C値1.0以下で“☆☆☆”  
(IBECの気密ランクに対応)

Dolphin2で  
IBEC・JISの全項目を  
スマートに省力化!

< 2 > 測定方法 (試験装置)	IBEC講習会テキスト 「住宅の気密性能試験方法」 (JIS A 2201:2017年改正)	Dolphin2・JIS対応測定 ★: Dolphin2 (赤字は省力化大きい) ▲: 未対応
(1) 測定器の設置場所	・できるだけ <small>小さな窓</small> ・風ある場合は <small>風下の窓</small>	★ <b>小型化+ビニールダクト</b> で 腰窓・小窓に取付かんたん
(2) 測定条件	・基本的に建物の <b>完成状態</b>	★完成時: <b>JIS対応測定(例)</b> 施工時: <b>かんたん測定(例)</b>
(3) 外部風速	①風速計による風速値: 3m/s以下 ②目視のビューフォート風力階級: 2以下	★②からExcelに手動入力
(3) 室内空気温度 内外圧力差	・室内空気温度: 5~35°C ・内外温度差[K]×建物高[m]: 200以下	★Excel上で <b>自動判定</b>
(4) <b>試験前後</b> の 内外圧力差	・前の圧力差( <b>30秒平均</b> ): ±3Pa以内 ・後の圧力差: 試験前値±1Pa以内 ・値の補正: 試験前の値で補正	★コントローラに <b>試験前後の測定ボタン</b> ★Excel上で <b>自動判定・補正</b>
(5) 圧力差の測定範囲 圧力差の安定	・通常: 1.0~5.0Paの5点以上 ・風ある場合: 3.0~7.0Paの5点以上 ・ <b>安定した状態</b> の平均値とする	★圧力差は手動設定で6点まで ★ <b>変動グラフ</b> で安定状態を確認容易、 再測定もかんたん
(6) 測定回数	・ <b>3回測定し、平均</b> する ・ばらつき大きいときは回数を増やす	★コントローラ上で <b>3回測定</b> 、Excel 上で平均処理など <b>一括処理</b> ★ばらつき大きいときは再測定できる
(7) 測定結果 <b>報告書</b>	・ <b>報告書の参考書式</b> (例示)	★IBEC報告書(Excel)を <b>USBメモリ</b> に書き出し



●販売元(窓口)  
ヤマイチ株式会社 担当: 平林  
TEL. 076-436-0231(代)  
〒930-0173富山県富山市野口812



●製造元  
EOM株式会社 担当: 駒野  
TEL. 090-2939-7725  
〒431-3105静岡県浜松市東区笠井新田町1196